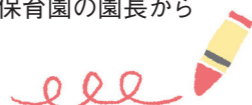


TOPICS
4 社会福祉法人 風の馬
入園式3つの保育園で
入園式が行われました。

令和2年4月1日、ペガサスグループ法人「社会福祉法人 風の馬」の3つの保育園で、入園式が行われました。今年度は、新型コロナウイルスを考慮し、規模を縮小した短時間の式になりましたが、合計64名の元気な新入園児を迎えることができました。ここでは、各保育園の園長からのコメントを紹介させていただきます。



ペガサス保育園

今年度、当園には21名の新しい園児が加わりました。入園式では、冒頭に馬場理事長と園長からご挨拶をさせていただき、続いて、大型絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせを行っています。例年よりも短い式となりましたが、絵本に登場するあおむしのぬいぐるみや、流した音楽に、子ども達はとても楽しそうでした。当園では今後も、入園児が安心して過ごせるような保育をめざしていきます。



ペガサス第二保育園

登園時に検温をお願いし、会場では各家庭に離れて着席してもらうなど、いつもの入園式とは違う物々しさがありませんでしたが、そらくみ(5歳児)の子ども達が、保育園の歌「ペガサスのこども」を披露すると、33名の新入園児を含め、会場全体が和んだ雰囲気になりました。これからも、子育てに関する悩みを何でも相談していただき、一緒に子ども達の成長を見守っていききたいと思います。

ペガサス保育園つばさ

当園は、医療的なケアが必要なお子さんにも対応する小規模保育園です。今年度は、10名のお友達が入園しました。入園式では、祝辞や職員紹介に加え、在園児(2歳児)が「はるですね はるですよ」という歌をプレゼント。一生懸命歌う姿に入園児もご家族も楽しそうでした。今後も、安心して子ども達が過ごし、ご家族がお仕事に行けるよう、職員一同頑張っていきます。

ペガサス健診センターの
ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。
一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。
お問い合わせ/072-265-6006



ペガサス地域包括ケアセンター

場所：馬場記念病院 総合案内横

時間：平日9時30分～12時まで

健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ/TEL:072-265-5558 (担当 斎藤)

「なんでも相談」
窓口ありますペガサスグループ
株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは
150種類以上。
大幅な値下げも
実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃 D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ/馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスマンモサnder

開催予定

【開催日】(予定)

6月14日(日)

7月12日(日)

【開催時間】

9時～17時

【お問合せ】

TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和2年●月●日

Vol.91

ペガサスから地域の皆さまへ

感染予防に最大限配慮し、入職式と新入職員研修を実施。
112名の新しい仲間が加わりました。

令和2年4月1日から4月3日までの3日間、ペガサスグループの入職式と新入職員研修が開催され、112名が新しくペガサスの一員として歩み始めました。

例年同様、1日目と2日目には、入職式・辞令交付、理事長の馬場武彦による「法人の運営方針」等に関する講義、職員による各種セミナーを実施し、3日目には、少人数に分かれてペガサスグループ内の施設や事業所で、臨床現場体験を行っています。

ただし、今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、これまでとはスタイルを大きく変更。特に集合型研修となる1日目と2日目については、例年のような一堂に会する形式ではなく、新入職員を3つの会場に分けるこ

とで、お互いの間隔を広く保てるように工夫し、集合写真の撮影も取り止めました。もちろん全員がマスク着用での参加です。また、式の中では、馬場理事長が「当院は感染症指定病院ではないが、だからこそ我々自身が感染しないように心がけることが大切」と話すなど、医療に携わる者として感染予防を徹底するよう促しました。

異例の入職式・新入職員研修となりましたが、参加した新入職員にとっては社会人として医療職としての第一歩であることに変わりありません。皆、期待と不安を抱えながら、今後成長を続けていくことと思いますので、温かく応援していただければ幸いです。

馬場記念病院 初期臨床研修医の紹介

大久保 克樹

多くの診療科・医療ステージを持つ当院では、専門的な手技から患者さまへの接し方まで、医師としての基礎を幅広く学べると感じています。今後は、一人ひとりの患者さまとしっかり向き合い、誠実に謙虚に、医療を行っていききたいと思います。



西村 住訓

疾患を治療するだけでなく、悩みや希望といった患者さまの気持ちを汲み取り、「この先生で良かった」と思われる医師になることが目標です。当院に来院される、多様な状態・環境の患者さまに寄り添い、有意義な2年間となるよう精進します。



野津 太祐

初期臨床研修の2年間は、1つの分野を学ぶのではなく、幅広く基礎を固めることが大切。その学びの場として、当院には十分な環境があると思います。研修を通じ、患者さまに信頼される医師となれるよう、技術はもちろん心も磨いていきたいです。



赴任医師紹介

第1弾

馬場記念病院に、新しく赴任した医師のご紹介。

年間6,000件弱の救急搬送を受け入れる馬場記念病院にとって、脳血管疾患や循環器疾患といった「命に関わる疾患」に対する診療体制を整備し、その機能を高めていくことはとても重要です。そのため、当院では、脳神経外科、脳神経内科、循環器科などの診療科を中心に、医師の確保、診療機能の向上に努めています。令和2年4月からは、脳神経外科に3名の医師が、循環器科に2名の医師が新たに加わりました。当院は、新任医師とともに、これからも地域の皆さまの安心の暮らしを守り続けます。

※次号以降も、4月に赴任した医師を順次ご紹介していきます。

脳神経外科 河原崎 知

コミュニケーションを大切に 早期の治療介入をめざす。

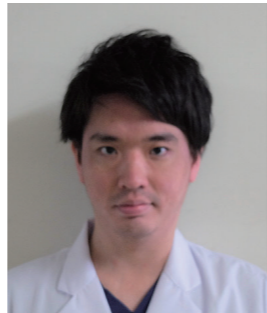
平成11年に順天堂大学医学部を卒業後、京都大学医学部の脳神経外科に入局し、大阪府、京都府、兵庫県の病院に勤務。脳神経外科手術を中心に、多様な疾患の診療に携わってきました。脳神経外科疾患の多くは、早期治療が重要です。私はコミュニケーションを大切に、できるだけ早期の治療介入をめざしています。脳腫瘍や未破裂動脈瘤などの脳神経外科疾患をお持ちの方はお気軽にご相談ください。



脳神経外科 長嶋 孝昭

患者さまに、そして地域に 寄り添った医療を心がける。

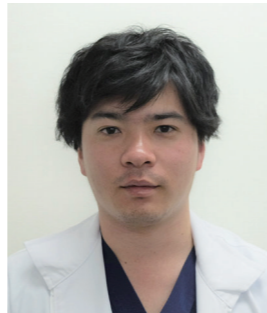
出身は九州大学医学部で、東京都にある国立病院機構災害医療センターでの初期臨床研修と九州大学病院での1年間の勤務を経て、当院に赴任しました。こちらでは主に脳神経外科一般の診療を担当させていただきます。私が診療において大切にしているのは、「患者さまに寄り添った医療」です。今後も、患者さまに、そして地域に寄り添った医療を提供できるよう、自己研鑽に励んで参りたいと思います。



循環器科 島田 裕希

診療能力とチーム力を高め、 生まれ育った町を支えたい。

初期臨床研修医として勤務してから、1年ぶりに当院に戻ってきました。堺市は私の生まれ故郷でもあり、こちらに再び勤務できることはとても嬉しく思います。循環器内科医師になり2年目の若輩者ですが、持ち前のフットワークとコミュニケーション力を武器に、自身の診療能力向上と、多職種連携の強化を図り、「ONE TEAM」で地域を支えていけるよう努力して参ります。



脳神経外科 桑原 和久

患者さまや地域の先生方との 「信頼関係」を大切に。

私は診療を行う上で、精度の高い診断と的確な治療とともに、「信頼関係」を大切にしています。ここで言う「信頼関係」は、患者さまはもちろん、ご家族や地域医療機関の先生方との関係も含むものです。当院においても、地域の先生方が安心して患者さまをご紹介いただけるように、患者さまやご家族が安心して受診していただけるように、皆さまと信頼関係を構築していきたいと思っております。



循環器科 桑木 恒

チームの一員として 幅広く循環器疾患に対応する。

大阪市立大学を卒業後、総合病院や大学病院に勤務し、広く循環器疾患の診療に携わってきました。日本循環器学会認定循環器専門医の資格も取得しています。診療面でめざしているのは、良好なアウトカム（臨床上の成果）を達成し、患者さまが満足できる医療を提供することです。今後は循環器チームの一員として、幅広く循環器疾患に対応していきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。



継続ケア

TOPICS 1 社会福祉法人風の馬 エクウスプリオル開設

エクウスに隣接する、 全室ユニット型の特養です。

令和2年4月1日、和泉市上町に「地域密着型介護老人福祉施設 エクウスプリオル」が誕生。開設に先駆け、3月26日に内覧会を開催しました。同施設は、入所条件を満たす要介護の皆さまに「お家での暮らし」を提供する特別養護老人ホーム。部屋数は全部で39室あり、そのうち29室が入居用、10室がショートステイ用となっています。全室ユニット型なので、プライバシーを保ちながら、



内覧会の様子



エクウスプリオル外観

ご自宅に近い環境で生活することが可能です。また、「介護療養型老人保健施設 エクウス」に隣接しているため、必要な場合には、エクウス内の診療所や居宅介護支援事業所、訪問看護、通所リハビリテーションによる支援を受けることもできます。

ペガサスは、これからは医療・介護・福祉サービスの充実を図り、皆さまの暮らしを支援し続けます。

地域密着型介護老人福祉施設 エクウスプリオル

入居者・ショートステイ希望者募集中!

●「お家での暮らし」をご提供します。●地域とご家庭との結びつきを大切にします。●ペガサスグループが全面的に支援します。

施設見学や入居相談など、お気軽にお問い合わせください。
問い合わせ先 0725-58-7172

コロナウイルス感染対策

TOPICS 2 ペガサスグループ 新型コロナウイルス感染拡大予防

安心してご利用いただけるよう、 感染予防に全力を挙げています。

ペガサスでは、患者さまや利用者さまを新型コロナウイルス感染症から守り、地域医療・介護・福祉の担い手としての責務を果たし続けるため、感染予防に向けたさまざまな取り組みを行っています。今回はその一部を紹介させていただきます。なお、現在、取り組みの一環として、セミナーや講演会などのイベントを中止させていただいております。開催を楽しみにしておられた皆さまにはご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。

●正面玄関での検温と 面会制限

感染予防には、何よりウイルスを院内に入れないことが大切です。

馬場記念病院では、全ての来院者に対し正面玄関で非接触型体温計を用いた検温を実施。発熱がある方については、症状や発症状況などを確認し、新型コロナウイルス感染症の疑いがあれば、他の患者さんと動線を分けて対応しています。また、入院患者さまへの面会は原則禁止とし、荷物の受け渡しなども5分以内に制限。長時間の面会が必要な「特段の事情」が認めら



れる方については、オンライン面会をお願いしています。

●職員や取引先の管理も徹底

ウイルスの侵入を防ぐには、職員や取引先の管理も重要です。ペガサスでは、職員に健康管理や三密を避けた生活習慣を促すとともに、発熱等がある場合の出勤マニュアルを作成し、少しでも感染が疑われる職員については、自宅待機としています。また、取引先との面談もテレビ会議などを活用し、直接接する機会を減らすよう努めています。

●環境の整備

水際対策に加えて力を入れているのが、院内、施設内の環境整備です。

まずは飛沫感染予防。全職員にマスク着用を義務付け、救急外来や診察室の医師・看護師はアイシールドやフェイスシールドを装着しています。また、受付には、透明のアクリル板も設置しています。そして、消毒の徹底。職員は、手洗いや手指消毒を励行し、院内のソファやテーブル等を1日に何度も消毒しています。



感染拡大は少し落ち着きを見せていますが、治療法・予防法が確立されていない新型コロナウイルスへの対応は、長期化が予想されます。ペガサスでは皆さまに安心してご利用いただけるよう、今後も感染対策に力を入れて参りますので、ご不便をおかけすることもあるかと思っておりますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。